

第7回

観光まちづくりフォーラム

～持続可能な地域の実現に向けて～

2026年 **11月5日（木）** 15:00～18:00

国學院大學渋谷キャンパス 常磐松ホール

プログラム

挨拶 挨拶：針本 正行 国學院大學学長
来賓ご挨拶：清水 雅博 高山市副市長

第1部

挨拶・学部説明：
梅川 智也 観光まちづくり学部長

第2部

【観光まちづくり取り組み事例の紹介】

北里 有紀氏（熊本県南小国町）
木村 隼斗氏（山口県長門市）
山口 敦史氏（山形県天童市）

（五十音順）

第3部

パネルディスカッション

パネリスト

北里 有紀氏・木村 隼斗氏・山口 敦史氏

モデレーター

梅川 智也 観光まちづくり学部長



梅川智也
観光まちづくり学部長



北里 有紀氏（熊本県南小国町）
歴史の宿 御客屋 七代目御客番

御客屋創業より田畑を耕し、山を手入れしながら温泉宿を営む「半農半宿」を続けている。ゲストが里山のおもてなしを体感できる「食」事業を中心に取り組む。地域固有の文化として「風土・風習・風味」の継承を目指し、黒川温泉の持続的発展に貢献すべく活動を行う。



木村 隼斗氏（山口県長門市）
長門湯本温泉まち株式会社まちの番頭

経済産業省に入省。地方創生人材支援制度により長門市役所にも勤務。同省退職後、2020年4月、地域の未来にコミットする長門湯本温泉まち（株）入社。地域が前向きなチャレンジの場として次世代へとつながっていくよう、日々取り組んでいる。



山口 敦史氏（山形県天童市）
株式会社 DMC 天童温泉 代表

天童温泉旅館経営者7名で（株）DMC 天童温泉を設立し、代表取締役社長に就任。「競争から共創へ」を掲げ、地域の農業、食、文化、自然を生かした100を超える着地型ツアーの企画・販売、天童温泉屋台村「と横丁」の開業など、温泉街の高付加価値化などに取り組んでいる。

温泉地から考える観光地経営
―宿・まち会社・DMCが地域をどう動かすか―